

2016年 夏号  
通算14号 2016年 8月発行



季刊 医療法人社団シャローム 広報誌

# シャローム通信



緩和ケア病棟オープン！



あなたのシャロームは私たちのシャロームです  
Your Shalom is Our Shalom

## 医療法人社団シャロームの理念と使命

### 【理 念 (表題)】

私たちは聖書の教えに基づき、病める人々とご家族の痛み寄り添い、心を合わせて、優しく温かい医療に努めます。

### 【使 命】

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに呼応した多岐にわたる医療を行う。

# 保険診療が可能な 2016年7月 緩和ケア病棟開設！

開院から22年、緩和ケア病棟を夢見て診療所を立ち上げようと考えてから25年を経て、夢が実現にいたりしました。



シャローム病院  
院長 鋤柄 稔

## 「緩和ケア病棟運営開始にあたって」

シャローム病院 院長 鋤柄 稔

前回のシャローム通信で、病院機能評価審査にパスしたことをお伝えしましたが、実は、それですぐに緩和ケア病棟を保険診療できるものとして認められたわけではありませんでした。病院機能評価とは別に、関東信越厚生局の定める基準に到達することが必要でした。しかし、それもようやくパスすることができ、7月から、緩和ケア病棟が保険診療の中で運営することが可能となりました。

振り返ってみれば、開院から22年、緩和ケア病棟を夢見て診療所を立ち上げようと考えてから25年を経て、その夢が実現にいたりしました。感無量の思いです。ここに至るまでの多くの方々のご指導、ご支援を思い返すとき、唯々感謝の一語に尽きません。あきらめていた病院としての緩和ケア（ホスピス）病棟が、自分の思い描いた方法とは異なる経緯で実現に至らしめた神をあがめます。この病院の土台の下に埋められた聖書を基とした施設であることの重みと、今後の方向付けを再確認した出来事があります。

緩和ケア病棟は、救世軍清瀬病院等で長年緩和ケアに携わってきた、日本緩和医療学会指導医の加藤医師や、県立病院で長年に亘り各種ケアに関わってきた宮崎師長の指導の下に運営されます。当院独自のケアも随所にあるかと思えます。患者さんとご家族が満足していただけることを確信するものです。もちろん今後も、足りない部分も出て来ると思えます。皆様からのご意見を忌憚なく聞かせていただいて、改善を積み重ねて行きたいと存じますので、よろしく願いいたします。

最後になりますが、緩和ケアは、外来、在宅、一般病棟でも行われており、シャローム全体、全スタッフが緩和ケアを心に置いてこれにあたっています。そのことも覚えながら応援していただければ幸いです。

### 【シャローム鋤柄医院 建設の様子】



まだ更地の状態



土台の下に埋めた聖書



形になってきた診療所



# シャロームの緩和ケア

～そのままに、あるがままに～  
あなたと私の shalom (平安)

## シャロームの理念

私たちは聖書の教えに基づき、  
病める人々とご家族の痛みに寄り添い、  
心を合わせて、優しく温かい医療に努めます。



## 「緩和ケア」とは

疾患に関わらず、病状が進行して窮地に立つ患者さんとご家族が、一日一日を心穏やかに過ごし、人生という旅路を平安に生き抜くことを支えるケアです。人間としての尊厳を保ち、身体の苦痛を和らげ、心の苦しみと悲しみをともに担い、喜びあるいのちを大切にします。ご希望に沿って、在宅でも入院でも、この時、この地で、チームで応援します。

緩和ケアはシャローム全体、全スタッフで行います。

## 設備・行事など ～一部をご紹介します～



屋上庭園



お部屋(全室個室)  
ご自宅としてお使いください



ホスピス専用リハビリ室



ティータイム



クリスマス会



院内での結婚式

患者さんやご家族のご希望を、できる限りお手伝いさせていただきます。



春のお花見会



## 医師紹介



加藤 修一 医師

加藤 修一（かとう しゅういち）  
病棟診療部長・緩和ケア科部長  
診療科：内科・緩和ケア科  
趣味：読書  
資格等：日本緩和医療学会 暫定指導医  
日本内科学会 認定内科医  
日本神経学会 専門医・指導医

### 「ホスピスへの招き」

病棟診療部長・緩和ケア科部長 加藤 修一

シャローム鋤柄医院を初めて見学に来た6年前、天神橋の交差点を右折して直進するとまもなく、車のカーナビから目的地が突然姿を消しました。どう考えても、通り過ぎています。407号線に戻って右折をやり直し、思い当たる細い道を進んで行くと、のどかな自然の中に建つ小さな診療所が見えてきました。院長先生がこれまたのどかで、初対面の私を温かく迎え入れてくださいました。

着任してすぐに分かりました。ここはホスピスであると。それはホスピスの歴史と特性、そして患者さんと職員の姿から明らかでした。人生は旅にたとえられます。長い旅路には苦難や危険が絶えません。疲れ、重荷を負う、私たちはみな、そのような者たちです。病に倒れることもあります。疲れた旅人を招き入れ、休ませ、もてなし、励まし、回復すれば再び旅立つことを助け、回復できないときは温かな介護で看取った、それがホスピスの原型です。

近代ホスピスは、1967年にシシリー・ソンドースが設立したイギリスのセント・クリストファー・ホスピスに始まります。以来ホスピスが大切にしてきたことは、ふさわしい理念があること、コミュニティに属する人をコミュニティで応援すること、病む人と家族と仲間が対象であること、親しい対話によって苦悩する人々を知ること、温かく心のこもった看護と介護で支えること、癒しのわざに励むこと、いのちの質を尊重することです。これらの歴史と特性に鑑み、さらに、患者さんと職員にある平安を実際に目にするにつけ、当院は開院以来ずっとホスピスであることを赴任したての私も理解したのです。



加えて、私たちのホスピスには特徴があります。疾患・人・場所を選ばないこと、そして、緩和医療、在宅医療、救急医療が一体となっていることです。どのような病の人も応援します。在宅でも、入院でも、外来でも一貫した方針の緩和ケアを行います。どこの戸口から入っても、ここはホスピスです。生活する場や緩和ケアの内容は、その時々話し合います。それは、患者さんと家族は、自分で考えて選んだ医療に満足するからです。あなたが我が家に勝る良い所はないと思うならば、医師・看護師・薬剤師が自宅に訪問する在宅緩和ケアで応援します。理由は何であれ在宅が難しくなったときは、救急で入院することができますし、回復して自信が出てくれば自宅に戻ることもできます。一方で、自宅よりも入院の方が勝っていると思うときは、病棟の自室を我が家として活用してください。この7月に開設した緩和ケア病棟は主にがん患者さんを、一般病棟は主にがん以外の患者さんを生活の全般にわたって支援します。

食べられない、歩けない、眠れない、下の世話を受けたくない、家族に迷惑をかける、経済的に厳しい、幼い子どもを残していけない、生きていく目的がない等々、患者さんと家族の悩みはさまざまです。それゆえ、多職種のスタッフとボランティアが院内外で協働しています。

苦痛な症状を緩和するのは、症状自体が辛くて面倒なことと、その症状ゆえにいのちの質が損なわれるからです。たとえば、強い痛みが原因で仕事を継続できないことです。ですから、辛い症状は積極的に治療し、緩和します。当院で施行できない緩和放射線療法などは他院と連携します。こうして辛い症状が和らぐと、今日を生きる元気が戻ります。

どのように過ごしていくかは百人百様です。それまでと同じように過ごす、できるところまで仕事をやりきる、家族とゆっくり過ごす、思いを巡らす、本を読む、自然の中を散歩する、自宅へ外泊する、家族が泊り込む、食事に出かける、お茶を飲みながら歌う、リハビリやマッサージを受ける、季節の行事に参加する、チャプレンと話し込むなど、いろいろとお手伝いします。

医療は出会いです。外来や在宅や入院のすべてを活用して長い日々をわたって応援できる人もいれば、短い日々の応援となる人もいます。いつまでですか、これからどうなりますかと、時に質問を受けますが、医療者にも分からないことが多いものです。統計学に基づくデータによって、また数学の公式を当てはめるように、いのちを語ることはできません。聖書は、「生まれるのに時があり、死ぬのに時がある」といいます。いのちを与えてくださっているのは神であり、神は良いことをしてくださるお方です。ならば、思い煩いのいっさいを神にお任せすることができます。地上の生涯がいつまでであっても、状況がどのように変化しても、今日という日は与えられたので一日一日を精一杯に生き抜く、このあなたの平安な旅路に私たちは伴走する者たちです。窮地に立つ人々への招き、それがホスピスです。



# イースター～復活祭～

## 春の集い



イースターは日本語で「復活祭」と言い、十字架に架けられ亡くなったイエス・キリストが、3日目によみがえり「復活」したことを祝う、キリスト教において最も大切なお祭りと言えます。イースターは、「春分の日後の最初の満月に次ぐ日曜日」と決められているため、日にちは毎年変わることになります。

シャロームでは、今年初めてイースターのイベントを行いました。スペシャルゲストにお笑いマジシャンであるジョイ・ジョイ・ジョージさんを迎え、みんなで歌を歌ったり、チャプレン（牧師）のお話を聞いたり、楽しい時間を過ごしました。当院院長も腹話術やマジック、歌を披露しました♪

ジョイ・ジョイ・ジョージ!

院長がマジシャンに!



# 讚美舞踊

～クリスチャン日本舞踊家が讚美歌に合わせて舞う日本舞踊～

6月22日に日本舞踊の講演がありました。クリスチャン日本舞踊家である笠井幸子さんは、神をたたえる舞の原点に魅了され、讚美歌に合わせて日本舞踊を舞うという新しいジャンルに力を注いでいます。

優雅な舞いに患者さんもスタッフも見とれてしまいました。素敵な時間をありがとうございました。

「神様がとお与えくださる その御心が、お一人お一人の心の内に届きますように 祈りを込めて讚美させていただきます。」

笠井幸子



# We are 魚道部 !!



院内の水槽を管理している「魚道部」をご紹介します♪



今から2年程前、院長より、患者さんにお楽しみいただけるよう、院内に水槽を設置してはどうかとの提案を受け、職員の中から魚の飼育や管理に詳しいメンバーを募り、魚道部が発足しました。

かわいい魚たちを見ることができるのは、私たちスタッフにとっても癒しです♪時々新しい種類の魚が入ったり、水槽がデコレーションされたりするので注目してみてくださいね。

## 1階外来水槽 担当



7月にリニューアルしました!

リハビリテーション科  
理学療法士 田中 耕二

素人が業務開始前、終了後に管理しているため行き届かないところが多々あるかとは思いますが、患者さんの“心を癒せれば…”と思い、心をこめてやらせて頂いております。(有り難い事に我々もリフレッシュさせて頂いています。)

何かご意見、ご希望がございましたら、お気軽にお申し付けください。



## 2階デイルーム水槽 担当

魚は友達!



総務課 山崎 智

## 3階デイルーム水槽 担当

Fish & Peace!



リハビリテーション科  
理学療法士 吉田 圭佑 (右)  
情報管理室 保泉 泰啓 (左)

魚道部は勤務時間外にボランティアとして活動しています。生き物の飼育には大変なこともたくさんあると思います。魚道部のみなさん、いつもありがとうございます。



『ことのは』抄  
第4回



～ 塩の話Ⅱ ～ 塩は、ほんの一つまみで良いのです。<sup>ねぎら</sup> 労い、称赞、感謝、気遣い、思いやり、素直な謝罪、時に応じ、一言添えるだけで、人の心は和<sup>なご</sup>み、人を結びます。また語る人の人柄に味をつけます。「塩味のついた快<sup>こころよ</sup>い言葉を使いなさい。」(聖書)

チャブレン(牧師)  
堀之内 豊



## ～中学生社会チャレンジ体験～

シャロームでは、研修生の受け入れを積極的に行っており、毎年、医大生や研修医、専門学校生など多くの方々が当院にて学ばれています。「中学生社会チャレンジ体験事業」もその一つです。中学生が様々な職場での社会体験を通じ、地域社会への理解を深めたり、人との関わりやルールを学ぶための取り組みで、今年も4名の中学生がシャロームにて「医療の仕事」を見学したり体験したりしました。様々な部署で、貴重な経験ができたことと思います。多くの方の学ぶ場としてお役に立てることをうれしく思います。患者さんにもご協力いただき、誠にありがとうございます。



「車イスの方を車に乗せる体験」



「ナースコールを体験」



## 私たちと一緒に働きませんか？

シャローム病院では職員を募集しています。ブランクある方も歓迎です。私たちは、聖書の教えに基づき、患者さんとご家族に寄り添った優しく温かい医療に努めています。私たちと一緒に働きませんか？募集職種は時期により異なりますので、お気軽にお問合せください。ご質問だけでも歓迎です。ご希望の方は見学もできます♪

シャローム病院 0493-25-2979 (担当：総務課スキガラ)



医療法人社団シャローム

シャローム病院 

【TEL(代表)】0493-25-2979

【住所】〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山 1496 【ホームページ】<http://shalorm.or.jp/>

訪問看護ステーション シャローム

【TEL】0493-27-4105

【FAX】0493-23-0035

介護支援事業所 シャローム

【TEL】0493-25-3141

【FAX】0493-23-0035

ヘルパーステーション シャローム

【TEL】0493-27-5070

【FAX】0493-23-0265

シャロームにつさい医院

【住所】〒350-0258 埼玉県坂戸市  
大字北峰 306 番地

【TEL】049-280-7373

【FAX】049-280-7374

【HP】<http://shalorm.or.jp/nissai/index.html>